

日本交流分析学会について

本学会は交流分析に関する研究を促進し、その普及と啓発をはかることを目的としています。

入会を希望される方は、別紙の『入会申込書』にご記入の上、事務局（E-mail：mail@js-ta.jp）宛てにメール添付し送信してください。

会員資格は、下記会則のように定められています。入会審査委員会において審査し、結果を翌々月までに事務局より通知します。入会通知メールに記載された振込先に、年会費として正会員 8000 円、一般会員 6000 円、学生会員（a:大学生，修士課程または博士前期課程の大学院生 3000 円、b:博士後期課程の大学院生 4000 円）、賛助会員 1 口 10,000 円（1 口以上）をご送金下さい。

なお、入会および申し込み方法等についてご不明な点は、事務局宛にお問い合わせ下さい。

また、交流分析学会のホームページもご覧下さい。

日本交流分析学会ホームページ <http://www.js-ta.jp/>

会則抜粋（会員の種別）

第5条：本会の会員は交流分析あるいはその関連領域における研究に関心をもつ者であって、入会審査委員会の審査を経て理事長の承認を得、所定の会費を納入した者とする。

2 本会の会員は、以下の正会員，一般会員，学生会員，賛助会員，名誉会員をもって構成する。

- ① 正会員は、入会審査委員会にて審査し、医学，歯学，心理学，教育学，看護学，社会教育学，精神保健学などの諸分野の職業に従事し，大学学部卒業以上またはこれと同等の学識を持つと認められた者とする。
- ② 一般会員は，前項以外の者で，かつ入会審査委員会にて審査し，承認を得られた者とする。正会員への移行には細則に定める審査を受けるものとする。
- ③ 学生会員は，医学，歯学，心理学，教育学，看護学，社会教育学，精神保健学などの諸分野の学業を専攻中の a:大学生，修士課程または博士前期課程の大学院生，b:博士後期課程の大学院生で，入会審査委員会にて審査し承認を得られた者とする。正会員への移行には細則に定める審査を受けるものとする。
- ④ 賛助会員は，本会の趣旨に賛同する個人，団体，企業及び事業所とし，理事長の承認を得た者とする。
- ⑤ 名誉会員（名誉理事長、名誉理事）は，本会の発展に多年功労のあった会員を理事会が推薦し，評議員会の議を経て承認を得た者とする。

* 会員の種別ごとの権利については、会則第7条をご確認ください。

* 正会員歴3年以上を経た会員は、学会認定交流分析士の資格申請(要審査)ができます。事務局までお問い合わせください。

（申し込み先）

日本交流分析学会 事務局

〒160-0011

東京都新宿区若葉 2-5-16 向井ビル 3F

(株)ヒューマン・リサーチ内

TEL：03-3358-4001 FAX：03-3358-4002

E-mail：mail@js-ta.jp

日本交流分析学会会員所属分類コード表

●ご自分の主たる所属領域を下記より選択し、入会申込書の所属分類欄にコード記号をお書き下さい。

専門領域	小分類	コード	専門領域	小分類	コード
医師の領域	各科臨床医	DC	福祉の領域	医療ソーシャルワーカー	CC
	産業医	DS		福祉領域のソーシャルワーカー	CW
	歯科医	DD		上記以外	CA
	上記以外	DA	企業・産業の領域	人事関係	KJ
心理の領域	病院心理臨床	PC		衛生管理	KH
	公立相談所心理	PS		経営コンサルタント	KC
	私立相談所・研究所心理	PK		教育研修	KE
	司法・矯正・警察領域の心理	PB	上記以外	KA	
	福祉施設心理	PF	官公庁職員の領域	教育関係	YE
	保健領域の心理	PH		司法・矯正・警察領域	YH
	心理学大学教員	PT		保健・福祉関係	YF
	生徒・学生相談	PE		労働関係	YR
	企業内の心理臨床	PD		上記以外	YA
	開業心理	PP	その他の治療領域	鍼灸マッサージ	QH
	上記以外	PA		カイロ・整体	QS
看護の領域	看護師	NC		上記以外	QA
	保健師	NF	医療関連領域	臨床検査技師	BL
	看護教員	NT		薬剤師	BH
	上記以外	NA		栄養士	BN
教員の領域	幼・小・中・高校の教員	EJ		衛生士	BD
	大学教員(医学・心理・看護学以外)	EU		病院職員	BS
	上記以外	EA	上記以外	BA	
学校等職員の領域	幼・小・中・高校の職員	GJ	宗教の領域	宗教家	S
	大学職員	GU		上記以外	SA
	上記以外	GA	学生		T
リハビリの領域	理学療法士	RP	上記以外の専門領域		A
	作業療法士	RO	所属・専門領域なし		Z
	言語聴覚士	RS			
	上記以外	RA			

日本交流分析学会 入会申込書

記入年月日：西暦 年 月 日

この資料は本学会の入会審査に用いるものです。記入漏れのないようご注意ください。

* 団体として賛助会員入会を希望される場合は、申込者についてご記入のうえ、入会目的の欄に団体入会希望の旨明記してください。

※会員番号は事務局にて記入します

フリガナ			生年月日
氏名 (団体名および申込者名)			年 月 日 歳
自宅住所 (申込者住所)	(〒 -) TEL (- -)		
最終学歴 (在学中)	大学大学院 課程 研究科 専攻 大学 学部 学科 () 修了／卒業 年 月 () 在学中 ※学生会員を希望する場合は学生証のコピーを同封すること。毎年4月に学生証の写しをメール添付で事務局に送り、卒業・修了したさいには直ちに学会に申し出ること。		
会員種別・目的	会則に基づいて該当する会員種別のカッコに✓を入れて下さい。 () 正会員、 () 一般会員、 () 学生会員 a、 () 学生会員 b、 () 賛助会員 ※学生会員希望の方は、推薦指導者（正会員）の氏名、会員番号、指導者の捺印が必要です 推薦指導者指名： 印 会員番号		
	入会目的をお書きください。		
所属先	所属先名及び専門領域・職名・職務内容をお書き下さい。 また、職務に係る資格（国家資格、公益法人発行の資格、学会又はそれに準じる団体発行の資格など）を取得されている場合には資格名・資格取得日・発行団体名などもお書き下さい。		
	現職		
	住所 電話	(〒 -) TEL (- -)	
所属分類	主たる所属領域を別表より選び、コード記入をお書き下さい		
学会誌等の送付先	(○をつけてください) 自宅 ・ 所属先	連絡先 E メール	

以下は、正会員希望の方のみご記入ください

(氏名：)

①交流分析の実際的な経験（臨床経験・教育経験・講師経験・活用経験、等）について、最近の経験から具体的にお書き下さい（□にチェックを付けてください）。

a. ☐経験なし

b. ☐経験あり（下記に具体的にお書き下さい）

年月	どこで	具体的内容	対象

②交流分析の研修や教育（交流分析学会の研修会、他学会での研修会、交流分析関係団体での講習会、大学等での講義、市民公開講座等での講演、個人的勉強会での研修、スーパーバイズ、独学）を受けたことについて、具体的にお書き下さい（□にチェックを付けてください）。

a. ☐まったく経験なし

b. ☐経験あり（下記に具体的にお書き下さい）

年月	研修時間	研修内容	講師名	主催者

③交流分析の学術活動（学会・研究会での発表、著書、投稿論文など）があれば、最近の活動内容をお書き下さい。（年月、タイトル、学会・研究会名又は発表誌名、簡単な発表内容の順）